

# 歳額は122億5,720万円

## 一般会計

### 福祉と健康

の老人に敬老記念品など 401万円  
の老人に市独自の年金支給 538万円  
の育成など 231万円  
ひとりぐらし老人に家庭奉仕員  
ヘルパー)を派遣 655万円  
らし老人障害者に福祉電話を設置  
54万円  
ひとりぐらし老人に日常生活用具  
25万円  
に属する老人などに入院見舞金を  
505万円



センターの運営管理 1,512万円  
者の社会復帰やリハビリテーション施設入所に係わる経費 1,168万円  
由、腎臓・心臓疾患などの障害を除減するために要する医療を給付  
1,106万円  
障害者に対し、福祉タクシー券を交  
80万円  
り心身障害者に対し、障害者手当を  
381万円



に設置したミニファックスなどの助  
36万円  
体、社会福祉協議会などに補助  
1,177万円  
し、住宅資金の融資と一部利子補  
3,693万円

▷ 居間里親に委託金を支給 205万円  
▷ 母子・父子・障害児世帯に対し補助 528万円



▷ 母子世帯に水道基本料、くみとり基本料を扶助 230万円  
▷ 無認可保育所および入所者に補助 566万円  
▷ 保育所の運営管理、保育内容の充実 6億2,542万円  
▷ 民間保育所に措置児を保育委託および保育内容の向上を図るために助成 5,154万円



▷ 乙訓休日応急診療所などの運営負担金 1,069万円  
▷ 予防接種の無料化 1,693万円  
▷ 胃がん、子宮がん、乳がん検診などを実施するほか、成人病教室を開催し、成人病対策を充実 1,919万円  
▷ 老人保健法に基づき、健康手帳作成、ねたきり老人訪問指導など 285万円  
▷ 乳幼児健診、母親教室、精神発達相談、歯みがき教室などの充実 561万円



### 教育と文化

▷ 登下校の安全確保のため交通指導員を配置 289万円  
▷ 私立幼稚園児に教材費を、施設に設備費などを補助 5,865万円  
▷ 小中学校の施設維持管理をはじめ、教材、管理用消耗品、各種補助金など学校教育の充実 2億1,911万円  
▷ 小中学校施設の整備 990万円  
▷ 児童・生徒の健康保持・増進に努め、保健教育、安全教育の充実 4,085万円  
▷ 修学旅行、遠足などを通じて、経験的な学習指導の実施など 3,747万円



▷ 子供会を育成するためのリーダー養成や地域活動、集団育成など 232万円  
▷ 家庭教育学級、高齢者教室などを開催 82万円

▷ 地区公民館講座などの充実運営 1,910万円  
▷ 埋蔵文化財の発掘調査など 6,800万円  
▷ 留守家庭児童会の育成、充実 6,109万円  
▷ 市立図書館の建設 2億9,078万円  
▷ 各種スポーツ教室の開催 60万円  
▷ 少年少女の体力の向上と親睦交流を図るとともに少年少女の健全育成 190万円

▷ スポーツ団体や地区運動会に補助 370万円  
▷ 市の歴史的な発展の足どりを明らかにする向日市史下巻の発行 2,264万円  
▷ 市民会館の各種文化講座や市民コンサートの開催など 1,714万円  
▷ 5万市民のふれあいと新しいふるさとづくりに、向日市まつりを開催 250万円

## 一般会計

今年度は、四月二十四日に市長選挙を控えて骨格予算となりました。予算規模は、一般会計七十一億一千百万円、特別五会計五十一億四千六百一千万一千円で、総額百一十二億五千七百一十万一千円となりました。



## 七十一億一千百万元

歳出予算とは、一年間の収入を見込んだうえで、どのようにお金をどう使っていくかを決めるものです。五十八年度の一般会計予算額は、七十一億一千百万円で、目的別にみてみますと民生費は十六億三千九百九十七万七千円で、全体の二三・一%、教育費は十二億九千三百円で、土木費は八億四千八百三十万円で、二二・七%、衛生費は七億九千三百二十万円で、二一・二%などとなっています。

主な事業は、老人医療見舞金支給制度・重度心身障害老人健康管理助成事業を設置■交通運送に対する援助金を五割増額■成人病財源をいいます。

歳入予算とは、市が行う下巻の発刊などとなっています。立図書館の建設■向日市史館路(久世北茶屋線)の整備)や市道の改良整備、交通安全対策事業の促進■市役所の改修■向日市史館の建

対策として肥満教室や健康体操教室を開設■都市計画税は十二億六千三百万円で、全体の五八・八%、地方交付税は八百二十七万七千円で、全体の五九・八%、総務費は九億八千六百九十九万円で、二二・七%、地代交付税は三万九千円で一二・二%などとなっています。

このため、市税などの自主財源の確保を図ることも、財源の重点的配分と効率的執行をさらに徹底させ、最少の経費で最大の効果を図るようにします。

五十八年度は、引き続き厳しい社会情勢の中で市の財政状況も例年以上に厳しくなるものとなっています。

このため、市税などの自主財源の確保を図ることも、財源の重点的配分と効率的執行をさらに徹底させ、最少の経費で最大の効果を図るようにします。

五十八年度は、引き続き厳しい社会情勢の中で市の財政状況も例年以上に厳しくなるものとなっています。

このため、市税などの自

## 予算額と構成比

で見る

## 予算

